



## 指の長さはどうしてみんなちがうの

### 手は第2の脳

人間の体の中で、手は第2の脳といわれるくらいに、人間を人間らしくしている部分だといえます。

人間は手を自分の思うがままに使い、さまざまな道具を作ったり、使ったりして、今日の文明を発展させてきました。これは、5本の指の長さや向きがちがひ、自由に動くことができたからこそなのです。

もし、5本の指の長さ、太さ、向きが全部同じだったら、ものをつかむ能力は、ごく限られたものになったでしょう。そうすると、今の科学技術が、こんなに発達したかどうかは分かりません。

### 道具を作り続けてきたのが人類の特徴

およそ250万年前、東アフリカにすんでいた人類の先祖が、石器を作って道具として使いはじめました。

手を使って道具をつくりはじめ、さらに、より良い道具を作ろうとする努力が脳を刺激し、ますます脳を発達させたのです。こうして、ほかの動物とはちがった大きな脳をもつ人類として、今日の科学技術を発展させてきました。この発展の理由の一つが、手を使うことにあったのです。(監修 保志 宏)

